



追加型投信 / 海外 / 株式

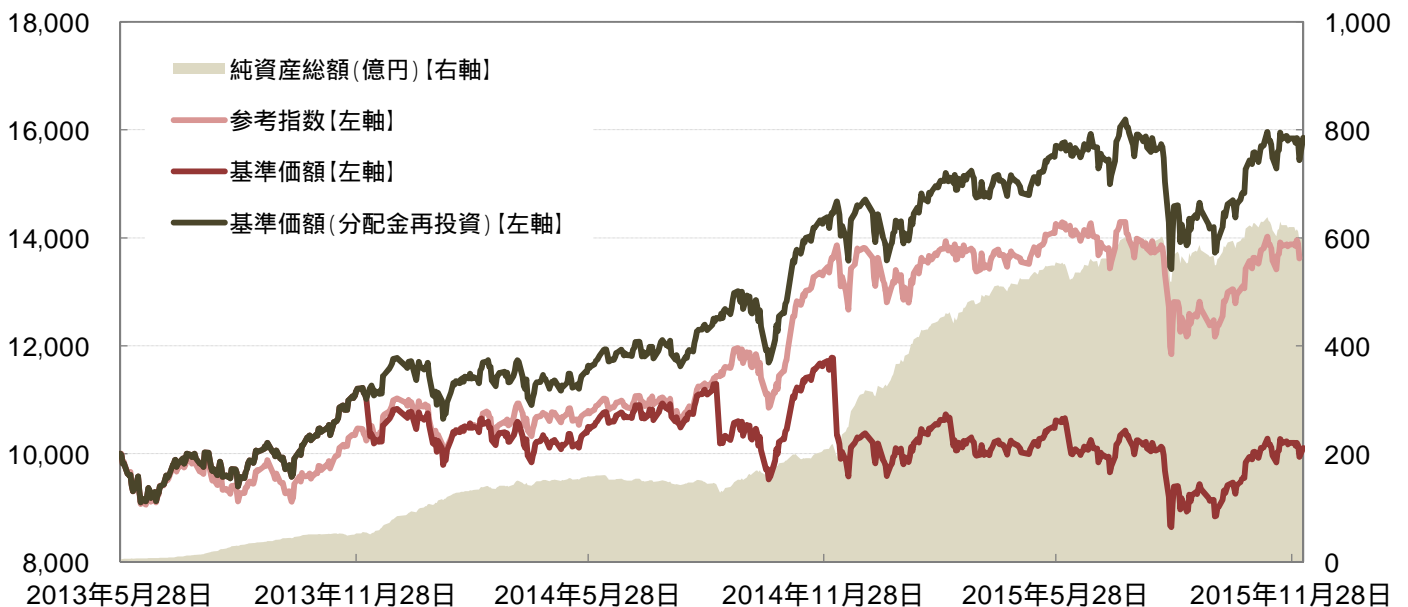
次世代米国代表株ファンド

愛称:メジャー・リーダー
決算のお知らせ

ファンド情報提供資料 / データ基準日: 2015年12月7日

平素は「次世代米国代表株ファンド(愛称:メジャー・リーダー)」をご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。さて、当ファンドは2015年12月7日に第10期(2015年9月8日～2015年12月7日)の決算を迎えました。当期における米国株式市場は、9月に下押し場面もあったものの、期末にかけては強含む展開となりました。こうした中、当ファンドの基準価額は前期末から上昇しました。今期の分配金は、基準価額の水準等を考慮し、100円(1万口当たり、税引前)と決定しましたことをご報告いたします。今後とも引き続き、当ファンドをご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

基準価額の推移(期間:2013年5月28日～2015年12月7日)



- ・基準価額、基準価額(分配金再投資)は設定日、参考指数は設定日翌営業日を10,000として指数化しています。
- ・基準価額および基準価額(分配金再投資)は、信託報酬控除後の値です。
- ・基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。
- ・参考指数はダウ・ジョーンズ工業株価平均(円換算ベース)です。指数については[当資料で使用している指数について]をご覧ください。
- ・参考指数は2015年12月4日までのデータを反映しています。

分配金実績(1万口当たり、税引前)

第6期 (2014年12月)	第7期 (2015年3月)	第8期 (2015年6月)	第9期 (2015年9月)	第10期 (2015年12月)	設定来累計
1,600円	450円	500円	0円	100円	4,850円

・運用状況によっては、分配金額が変わる場合、あるいは分配金が支払われない場合があります。

上記は過去の実績・状況です。本見通しないし分析は作成時点での見解を示したものであり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮しておりません。

次世代米国代表株ファンド 愛称:メジャー・リーダー

第10期(2015年9月8日～2015年12月7日)の相場概況と当ファンドの運用状況について

第10期の米国株式市場は、上昇して期を終えました。期初から9月末にかけての市況は、9月のFOMC(米連邦公開市場委員会)において利上げが見送られたことが好感されず、むしろ景気不安を想起させたこと、また中国景気減速への懸念等から、下押し場面もありました。しかしながらその後は、中国の積極的な財政・金融政策やECB(欧州中央銀行)の追加金融緩和に前向きな姿勢を受けて、市況は強含む展開となりました。企業業績につきましても、事前には懸念する向きの多かった2015年7-9月期四半期の企業決算において大きな悪化がみられなかったことが、市場参加者の安心感を誘い、むしろ市況上昇の一要因となりました。米ドル(対円)も上昇したことから、期末にかけては円ベースでみた米国株式市場は上昇しました。

こうした投資環境の下、当ファンドでは、高い利益成長が期待されるバイオ関連株や、広告収入や利用者数の伸びと収益化が期待されるFACEBOOK、強いブランド力を誇り、高品質のコーヒーチェーンを展開するSTARBUCKS等に投資を行いました。

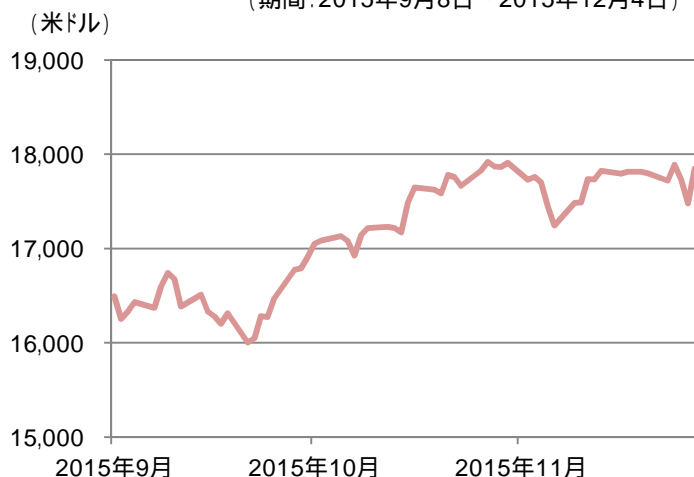
今後の市況見通しおよび運用方針

米国経済は、雇用関連の指標に示されるように、依然として回復基調にあると判断しています。2015年内に、FRB(米連邦準備制度理事会)が政策金利を引き上げる可能性が高まりましたが、あくまでも景気の着実な回復傾向を踏まえたものであり、悪材料視されるべきものではないと考えます。2015年の企業業績予想は、足下必ずしも好調とはいえませんが、原油価格下落を受けたエネルギー関連企業の業績下方修正等、特定業種に引きずられている面が強く、市況の大幅な下落要因になるとは考えておりません。むしろ原油安は、個人消費を支えるものと期待されます。米国株式市場を取り巻く環境は基本的には良好であり、緩やかながらさらなる戻りを試す展開を予想しています。

当ファンドは、大きな変化が起こっている分野に注目し、変化に機動的に対応し、恩恵を受け得る新しい次世代企業に投資します。現在は、インターネット、バイオ、さらには環境等の分野の重要性の高まり、同分野での新しい企業の台頭に注目しています。同時に、絶え間ない自己革新により、環境変化に対応し続けている伝統的な老舗企業にも目を向け、より高い投資成果の達成をめざします。

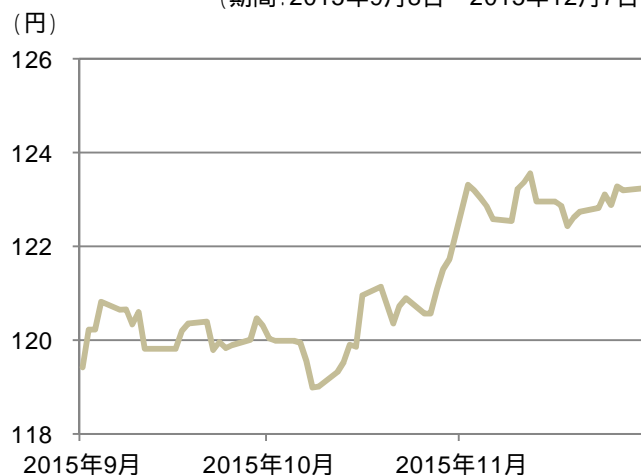
ダウ・ジョーンズ工業株価平均の推移

(期間:2015年9月8日～2015年12月4日)



米ドル(対円)の推移

(期間:2015年9月8日～2015年12月7日)



(出所)ブルームバーグ社のデータより三菱UFJ国際投信作成

【当資料で使用している指数について】

ダウ・ジョーンズ工業株価平均:ダウ工業株30種(ダウ・ジョーンズ工業株価平均)とは、S&Pダウ・ジョーンズ・インデックスLLCの商品で、輸送株と公益株以外の商品とサービスを提供する米国のすべての上場銘柄から、米国を代表する優良30銘柄を選出し、指数化したものです。

上記は過去の実績・状況です。本見通しないし分析は作成時点での見解を示したものであり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮しておりません。

次世代米国代表株ファンド(愛称:メジャー・リーダー) 追加型投信 / 海外 / 株式

ファンド情報提供資料

ファンドの特色



- 1 米国の株式が実質的な主要投資対象です。
- 2 主として米国において取引されている次世代の米国経済の主役となり得ると委託会社が判断した企業の株式に投資を行います。
- 3 外貨建て資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
- 4 年4回の決算時(3・6・9・12月の各7日(休業日の場合は翌営業日))に分配を行います。

市況動向および資金動向等により、上記のような運用が行えない場合があります。

投資リスク

主な投資リスクとして、組入株式の価格変動リスクや為替変動リスク、信用リスク、流動性リスク等があります。



価格変動 リスク

企業業績や市場・経済の状況等を反映して組入株式の価格が下落することがあります。また、原則として為替ヘッジを行わないため、為替変動の影響を大きく受けます。



流動性リスク

市場に十分な需要や供給がない場合等に、市場実勢から期待される価格より不利な価格での取引となる可能性があります。



信用リスク

組入株式の発行者の倒産や財務状況の悪化等の影響により、組入株式の価格が下落することがあります。

したがって、投資者のみなさまの投資元金が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。運用により信託財産に生じた損益はすべて投資者の皆様へ帰属します。

投資信託は預貯金と異なります。

詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

お客さまにご負担いただく費用

購入時	購入時手数料	購入価額× 3.24%(税抜3%) (上限) 購入時手数料は販売会社が定めます。 (くわしくは、販売会社にご確認ください。)
換金時	信託財産留保額	ありません。
保有期間中	運用管理費用 (信託報酬)	純資産総額× 年1.566%(税抜年1.45%)
	その他の費用・ 手数料	売買委託手数料等、監査費用、外国での資産の保管等に要する費用等を信託財産からご負担いただきます。これらの費用は運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することができません。

お客さまにご負担いただく手数料等の合計額は、購入金額や保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

【当資料のご利用にあたっての注意事項等】

- 当資料は、「次世代米国代表株ファンド(愛称:メジャー・リーダー)」の決算の状況をお知らせするために三菱UFJ国際投信が作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。また、勧誘を目的に作成したものではありません。投資信託をご購入の場合は、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。
- 投資信託は、販売会社がお申込みの取扱いを行い委託会社が運用を行います。
- 投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、貯金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。販売会社が登録金融機関の場合、投資者保護基金に加入していません。

ご購入の際には、必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。

委託会社(ファンドの運用の指図等) 三菱UFJ国際投信株式会社
受託会社(ファンドの財産の保管・管理等) 三菱UFJ信託銀行株式会社
販売会社(購入・換金の取扱い等) 後記の各照会先でご確認いただけます。

設定・運用 ...三菱UFJ国際投信株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号
加入協会 一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会

次世代米国代表株ファンド 愛称:メジャー・リーダー

販売会社情報一覧表

商号	登録番号等	加入協会
株式会社 あおぞら銀行	登録金融機関 関東財務局長(登金)第8号	日本証券業協会 / 一般社団法人金融先物取引業協会
株式会社 青森銀行	登録金融機関 東北財務局長(登金)第1号	日本証券業協会
株式会社 阿波銀行	登録金融機関 四国財務局長(登金)第1号	日本証券業協会
株式会社 イオン銀行	登録金融機関 関東財務局長(登金)第633号	日本証券業協会
株式会社 池田泉州銀行	登録金融機関 近畿財務局長(登金)第6号	日本証券業協会 / 一般社団法人金融先物取引業協会
株式会社 SBI証券	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第44号	日本証券業協会 / 一般社団法人金融先物取引業協会 / 一般社団法人第二種金融商品取引業協会
カブドットコム証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第61号	日本証券業協会 / 一般社団法人金融先物取引業協会
株式会社 紀陽銀行	登録金融機関 近畿財務局長(登金)第8号	日本証券業協会
株式会社 京葉銀行	登録金融機関 関東財務局長(登金)第56号	日本証券業協会
ごうぎん証券株式会社	金融商品取引業者 中国財務局長(金商)第43号	日本証券業協会
株式会社 山陰合同銀行	登録金融機関 中国財務局長(登金)第1号	日本証券業協会
株式会社 四国銀行	登録金融機関 四国財務局長(登金)第3号	日本証券業協会
株式会社 大正銀行	登録金融機関 近畿財務局長(登金)第19号	日本証券業協会
高木証券株式会社	金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第20号	日本証券業協会
株式会社 但馬銀行	登録金融機関 近畿財務局長(登金)第14号	日本証券業協会
株式会社 中京銀行	登録金融機関 東海財務局長(登金)第17号	日本証券業協会
株式会社 中国銀行	登録金融機関 中国財務局長(登金)第2号	日本証券業協会 / 一般社団法人金融先物取引業協会
株式会社 東京都民銀行	登録金融機関 関東財務局長(登金)第37号	日本証券業協会 / 一般社団法人金融先物取引業協会
株式会社 鳥取銀行	登録金融機関 中国財務局長(登金)第3号	日本証券業協会
株式会社 南都銀行	登録金融機関 近畿財務局長(登金)第15号	日本証券業協会

次世代米国代表株ファンド 愛称:メジャー・リーダー

販売会社情報一覧表

商号	登録番号等	加入協会
株式会社 八十二銀行	登録金融機関 関東財務局長(登金)第49号	日本証券業協会 / 一般社団法人金融先物取引業協会
フィデリティ証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第152号	日本証券業協会
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第165号	日本証券業協会 / 一般社団法人日本投資顧問業協会 / 一般社団法人金融先物取引業協会
三菱UFJ信託銀行株式会社	登録金融機関 関東財務局長(登金)第33号	日本証券業協会 / 一般社団法人金融先物取引業協会
株式会社 宮崎銀行	登録金融機関 九州財務局長(登金)第5号	日本証券業協会
株式会社 山形銀行	登録金融機関 東北財務局長(登金)第12号	日本証券業協会
株式会社 山梨中央銀行	登録金融機関 関東財務局長(登金)第41号	日本証券業協会
楽天証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第195号	日本証券業協会 / 一般社団法人金融先物取引業協会 / 一般社団法人第二種金融商品取引業協会
株式会社 琉球銀行	登録金融機関 沖縄総合事務局長(登金)第2号	日本証券業協会